



発行：大野北地区社会福祉協議会
〒252-0233 相模原市中央区
鹿沼台 1-10-20
(大野北まちづくりセンター内)
電話：042-861-4512

地区社会福祉協議会（通称：地区社協）とはどんなところ？

地区社協は自治会、民生委員・児童委員、ボランティア団体などの地域住民が協力し、[皆さんが暮らしている町]で[安心して幸せ]に生活するための活動を行うボランティア組織です。

【特集】

青学アメフト部の学生
たちが地域とつなぐ朝
の挨拶（中面掲載）



大野北地区社会福祉協議会

会長 鈴木 基之

役員改選にあたって

令和7年度の大野北地区社会福祉協議会会長に就任しました鈴木 基之です。

当地区は、人口6万人を超す大きな地区で最近若い世帯の人口が増えてきていますが、65歳以上の高齢者も23%を占めており、老若が混在している地域です。

新年に入り、円安による輸入食材類を中心とした物価高騰や米価高騰と、アメリカ力輸入関税引き上げによる経済不安が進んでいます。一方、少子高齢化による福祉を担う人たちの高齢化と働き方改革による人手不足、逆に福祉を求める要支援者の増加という現象も出ています。

この状況の中で、地区社会福祉協議会の役割は何か。現在の支援メンバーだけでは限界に来ています。福祉の輪を広げて地域全体で参加し、要支援者を支え、一人ひとりが生きがいをもって自立して、幸せな生活を送れる地域、豊かな安心できる「まちづくり」を積極的に進めて行くことが求められています。

自分でできる活動は沢山あります。子どもたちの成長を見守り、元気な笑顔、大きな声が聞こえる地域活動、高齢者の生活を支援する見守りや話し合い等の活動への参加です。一步を踏み出してみましょう。

はやぶさカフェ訪問記

取材：関 一仁 広報部会員

「はやぶさカフェ」は毎月第2金曜日「大野北公民館」と第4金曜日「スペースカフェ銀河」で開店しています。今回は、6月27日に「スペースカフェ銀河」午後の部（1時～3時）に訪問取材しました。

「スペースカフェ銀河」は入口に置かれている月間予定表がびっしりと埋められ盛況ぶりがうかがえます。店内には JAXA 関連品が棚いっぱい展示されています。

当日の来客者は男女10名、皆さん和気あいあいと世話役の小山さん、平賀さんの進行により、テレビ体操、物語、七夕飾り作り、紙芝居、ウクレレ伴奏付き合唱と2時間はあっという間に過ぎてしまいました。

当日は特別に出張ハンドマッサージも提供され好評を受けていました。飲み物やおやつも無料で提供されます「どなたでも歓迎」と利用客からもお誘いを受けましたので、ぜひ一度ご利用下さい。



車いすの貸出 【無料】

貸出期間：約1週間

事前予約は右記お問合せまで。



お問合せ：大野北地区社会福祉協議会 事務局

☎042-861-4512

【特集】青学アメフト部の学生たちが地域とつなぐ朝の挨拶

～淵野辺小学校前での旗振りボランティア～

取材：中村岳彦 広報部会員

毎週火曜日と金曜日の朝、市立淵野辺小学校の通学路に、元気な挨拶の声が響きます。その声の主は、なんと青山学院大学アメリカンフットボール部の学生たち。朝の登校時間にあわせて、児童たちの安全を見守る「黄色い旗振りボランティア」として活動しています。

■きっかけは「相模原に何か恩返しをしたい」という思いから

青山学院大学アメフト部に所属する学生たちは、練習グラウンドがある相模原市で「地域に役立つことをしたい」との思いから、社会福祉協議会に相談。そこで「児童の登校時の見守りボランティアが不足している」という地域課題を知り、旗振り活動を始めることになりました。

「愛し愛され愛を与えるチーム」という部の MISSION（ミッション）を胸に、学生たちは地域とのふれあいの中で、スポーツの枠を超えた社会貢献を実践しています。

■「元気を届けるつもりが、元気をもらっています」

取材当日、交通量の多い交差点に立つ学生たちは、登校する児童一人ひとりに「おはようございます！」と元気に声をかけていました。

学生の皆さんに活動の感想を尋ねると、「子どもたちに元気を届けるつもりで始めたのに、逆に元気をもらうことが多いです」と笑顔で話してくれました。はじめは体格の大きな大学生に少し緊張していた子どもたちも、今では自分から大きな声で挨拶してくれるようになったそうです。

また、活動後には校庭で子どもたちとドッジボールをして交流を深める姿も。こうした時間を通じて、学生たちにとっても「人とつながることの大切さ」を実感する機会となっています。



■浅倉学校長から

「子どもたちの心に、豊かな彩りを」

この活動について、淵野辺小学校の浅倉校長先生にもお話を伺いました。「お話をいただいた時は驚きましたが、大変ありがたく思っています。登校前のわずかな時間ですが、子どもたちにとっては毎週の楽しみであり、心に彩りを与えてくれる存在です。こうした経験が、子どもたちの発想力や挑戦する気持ちを育むきっかけになると感じています。」

■世代を超えたつながりが、地域の力になる

社会福祉協議会の担当者は、学生たちの申し出を聞いたとき「高齢者が中心だった地域ボランティアに、若い力が加わるのはうれしい」と、すぐに淵野辺小学校との橋渡しをしたそうです。学生の皆さんも「小学生、教員、大学生、地域ボランティアと、幅広い世代との交流ができるこの活動は、地域にとって貴重な財産。これからも仲間に活動を広げ、もっと地域に貢献したい」と話してくれました。

【取材にご協力いただいた方】左から
小泉 彩音（こいずみ あやと）さん【選手】
伊原 健太郎（いはら けんたろう）さん【選手】
浅倉 勲（あさくら いさお）学校長
高 彩衣（こう さえ）さん【スタッフ】
中村 真菜（なかむら まな）さん【スタッフ】
山本 健剛（やまもと けんごう）さん【スタッフ】



■取材を通して感じたこと

この取材を通じて、私は深い感動を覚えました。彼らが生まれ育った土地ではないにもかかわらず、練習場が相模原にあるという理由で、都内から電車に乗って早朝に集まり、地域の子どものために旗を振る姿。その誠実さと情熱に、地域の大人として胸が熱くなりました。

本来は私たち地域の大人や保護者が担うべき見守り活動に、大学生が自主的に取り組んでいるという事実、少しの恥ずかしさも感じました。けれど、この姿勢が地域に「優しさの連鎖」を広げてくれるきっかけになると信じています。また、この学生さんは大野北銀河祭り・ふるさとまつりでもお手伝いされると伺っており、優しさの連鎖が広がりそうです。この活動が、もっと多くの人に知っていただき、地域全体に温かいつながりが広がっていくことを願ってやみません。

大野北地区老連 芸能のつどい

取材：加藤朝男 広報部会員

大野北地区老人クラブ連合会の最大行事である「芸能のつどい」が、3月11日（火）大野北公民館にて開催されました。今回は新型コロナ禍を経て、5年ぶりの開催となり、出演者12グループと観客で約150人が集まり盛大な開催となりました。



勢いあふれる会長挨拶のあと、元気よく「きよしのズンドコ」と「花笠音頭」の太鼓、女性部のさわやかな中央区の歌から始まり、民謡、踊り、詩吟、尺八、三味線、フラダンス、コーラスなど盛りだくさんの演目が披露されました。壇上のメンバーは、はなやかな衣装に身を包み、明るい笑顔で動きも軽やかに、一年の総仕上げの大イベントに粋をこらしました。観客の方々も手拍子、掛け声などで盛り上がり、あるいはうっとり酔いしれていました。

全21演目終了の時を迎え、出演者、観客の方々みなで「お元気でまた来年もお会いしましょう」とお互いに声をかけあう姿に、笑顔あふれる高齢社会への思いを深くさせられました。

大野北地区社会福祉協議会の活動と開催参加問い合わせ先

開催参加お問合せ先は、下の事務局又は公民館設置のチラシ等へ

対象者	活動名称	主な内容、他
0歳から 未就園児	「あつまれおやこ」	保育園の先生等を交え親子で遊ぶ、交流の場
	親子や親同士の交流の場 「親子スペース たけのこの家」 「親子スペース つくしの家」	・たけのこの家：毎月第1木、第3火（9:30～） 嶽之内自治会館にて ・つくしの家：毎月第4月（10:00～12:00） 淵野辺自治会館にて
中学生 高校生	「中高生ボランティアスクール」	ボランティア活動の手引き活動。 8/5（火）開催予定 ※今年度の申し込みは終了しました。
高齢者	高齢者の交流の場 「はやぶさカフェ」	・大野北公民館：毎月第2金（13:30～16:00） ・スペースカフェ銀河：毎月第4金 （淵野辺郵便局近く）（午前の部 10:00～12:00） （午後の部 13:00～15:00）
	「思い愛ネットワーク」	高齢者の見守り活動。 参加希望者は各ネットワークまたは各自治会、 民生委員へ連絡
参加自由	「ふれあいフェスタ」	地区社協の活動報告や交流の場。 3/1（日）開催予定

お問合せ：大野北地区社会福祉協議会 事務局 ☎042-861-4512



大野北地区社会福祉協議会顕彰

5月16日、大野北地区社会福祉協議会活動における永年の功績、貢献をたたえ、総会に先立ち表彰式を行い、山口前会長より以下の3名の方に表彰状を贈呈いたしました。（敬称略）

- 岩崎 みづほ（欠席）：大野北地区思い愛ネットワーク、地域の高齢者の見守り活動
- 鈴木 満与：大野北地区思い愛ネットワーク、防災訓練その他研修会への積極的参加
- 前村 一美：ボランティア大野北、養護施設等の車いす清掃整備、学童の登下校見守り

★寄付金
ありがとうございました



令和7年5月23日、懐メロ友の会様より、48,137円のご寄付をいただきました。懐メロ友の会の皆様、ありがとうございました。